



Your dreams. Woven together.

2020年6月期 決算説明資料

2020年8月14日

(証券コード:7747 東証一部、名証一部)



目次

1. 2020年6月期 連結決算の概要

2. 2021年6月期(通期) 連結業績見通し



2020年6月期 決算のポイント-1

売上高は56,546百万円 <前年同期比 $\Delta 1.2\%$ >

～新型コロナウイルスの影響前は順調に推移するも、下半期以降での当影響や、
為替動向、医療償還価格の下落などの外部要因も加わり、微減～

■ メディカル事業 ～新型コロナウイルスの影響、医療償還価格下落により微減～

- 新型コロナウイルス影響により、4月以降の症例数が減少
- PTCAガイドワイヤーなどを中心とした自社ブランド製品の大半は、症例数の減少を受けて減少
- 脳血管系領域は、ガイドワイヤーの増加に加え、新製品バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor」の販売開始により好調に推移
- 医療償還価格(10月・4月)の改定($\Delta 504$ 百万円)
- 新型コロナウイルスの影響により全世界的に症例数が減少
- PTCAガイドワイヤーは、症例数減少の影響を受けながらも、全地域において前年比数量増
- 非循環器系分野は、腹部・脳血管系領域において減少
- 為替動向の影響($\Delta 1,245$ 百万円)

国内

海外

■ デバイス事業 ～医療部材取引が増加するも、産業部材取引が減少し減収～

- ◆ 医療部材は、米国向けの循環器系検査用カテーテル部材及び腹部血管系カテーテル部材が増加
- ◆ 産業部材は、国内向けOA機器関連取引が増加するも、海外向けの自動車関連・建築関連取引が減少



2020年6月期 決算のポイント-2

継続的な先行投資に伴う 営業・研究開発費用などの増加により営業利益は減益

- 売上総利益は38,038百万円 <前年同期比 $\Delta 4.2\%$ >
 - 売上高の減少を主因として、売上総利益率が低下
- 営業利益は12,445百万円 <前年同期比 $\Delta 18.0\%$ >
 - 米国や欧州市場などの販売・マーケティング強化費用の増加
 - 研究開発費(6,579百万円)の増加(前年同期比+542百万円、売上高比率11.6%)
 - 組織体制強化のための人件費の増加
- 経常利益は12,310百万円 <前年同期比 $\Delta 17.0\%$ >
 - 為替差損の減少(前年同期比 $\Delta 209$ 百万円)
- 親会社株主に帰属する当期純利益は9,178百万円 <前年同期比 $\Delta 18.3\%$ >
 - 段階取得に係る差益(400百万円)の減少
 - 新社屋に係る補助金収入(959百万円)の計上
 - 直販化のための営業補償金(339百万円)の発生

為替 (単位:円)	US\$	EURO	中国元	BAHT
2020年6月期	108.19	119.62	15.38	3.49
2019年6月期	111.15	126.81	16.28	3.45



決算ハイライト 前年同期比

	2019年6月期 実績		2020年6月期 実績				(ご参考) 前期と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	57,216	100.0	56,546	100.0	△670	△1.2	57,911	100.0	+694	+1.2
売上総利益	39,700	69.4	38,038	67.3	△1,662	△4.2	39,401	68.0	△299	△0.8
営業利益	15,168	26.5	12,445	22.0	△2,722	△18.0	13,627	23.5	△1,540	△10.2
経常利益	14,833	25.9	12,310	21.8	△2,522	△17.0	13,492	23.3	△1,340	△9.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,237	19.6	9,178	16.2	△2,059	△18.3	10,360	17.9	△877	△7.8
EPS(円)*	43.29円	—	35.25円	—	△8.04円	△18.6	—	—	—	—

* EPSにつきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



決算ハイライト 計画比

	2020年6月期 計画		2020年6月期 実績				(ご参考) 計画と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画比		金額 (百万円)	構成比 (%)	計画比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	56,207	100.0	56,546	100.0	+339	+0.6	56,381	100.0	+173	+0.3
売上総利益	37,272	66.3	38,038	67.3	+766	+2.1	37,888	67.2	+616	+1.7
営業利益	11,940	21.2	12,445	22.0	+505	+4.2	12,313	21.8	+373	+3.1
経常利益	11,965	21.3	12,310	21.8	+345	+2.9	12,178	21.6	+213	+1.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,977	16.0	9,178	16.2	+200	+2.2	9,046	16.0	+68	+0.8
EPS(円)	34.48円	—	35.25円	—	+0.77円	+2.2	—	—	—	—



セグメント別売上高

	2019年6月期 実績		2020年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	48,216	84.3	47,855	84.6	△360	△0.7
デバイス事業	9,000	15.7	8,690	15.4	△309	△3.4
合計	57,216	100.0	56,546	100.0	△670	△1.2

(参考)

医療機器分野	51,881	90.7	51,931	91.8	+49	+0.1
産業機器分野	5,335	9.3	4,614	8.2	△720	△13.5

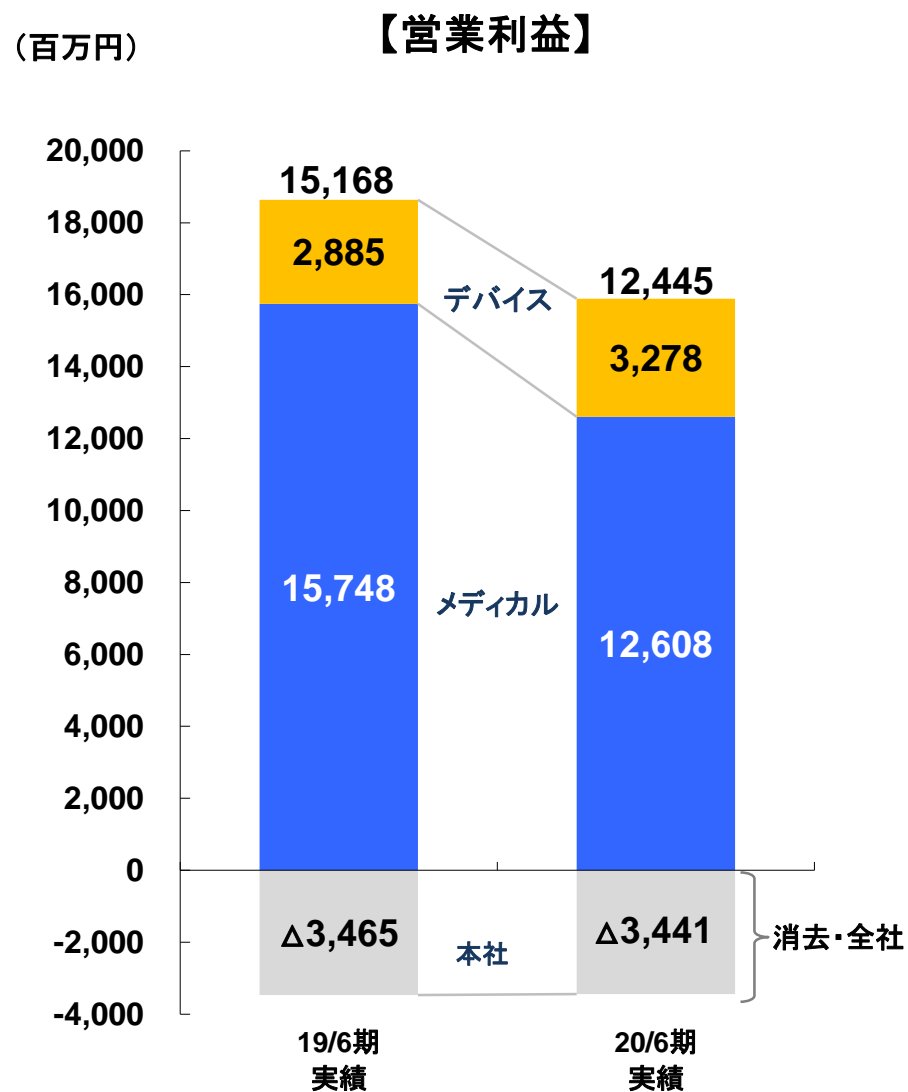
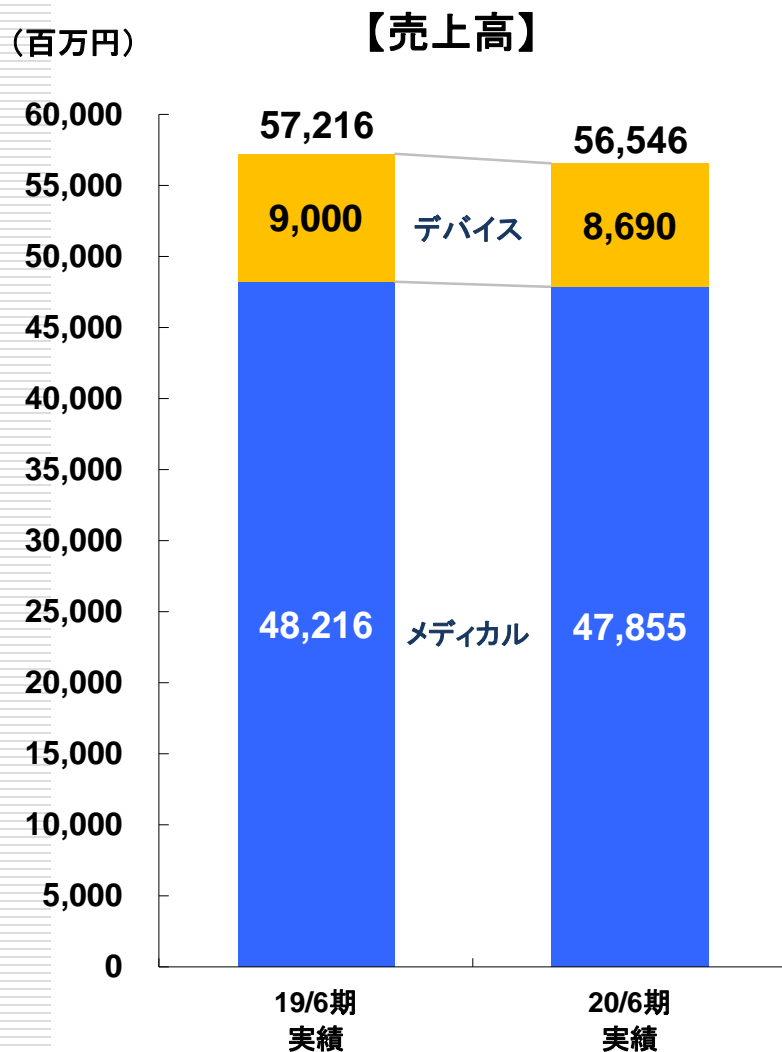


セグメント別営業利益

	2019年6月期 実績		2020年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	15,748	84.5	12,608	79.4	△3,139	△19.9
デバイス事業	2,885	15.5	3,278	20.6	+392	+13.6
計	18,634	100.0	15,886	100.0	△2,747	△14.7
消去・全社	△3,465	-	△3,441	-	+24	△0.7
合計	15,168	-	12,445	-	△2,722	△18.0
(ご参考) デバイス事業 セグメント間売上高	3,553	-	4,449	-	+896	+25.2

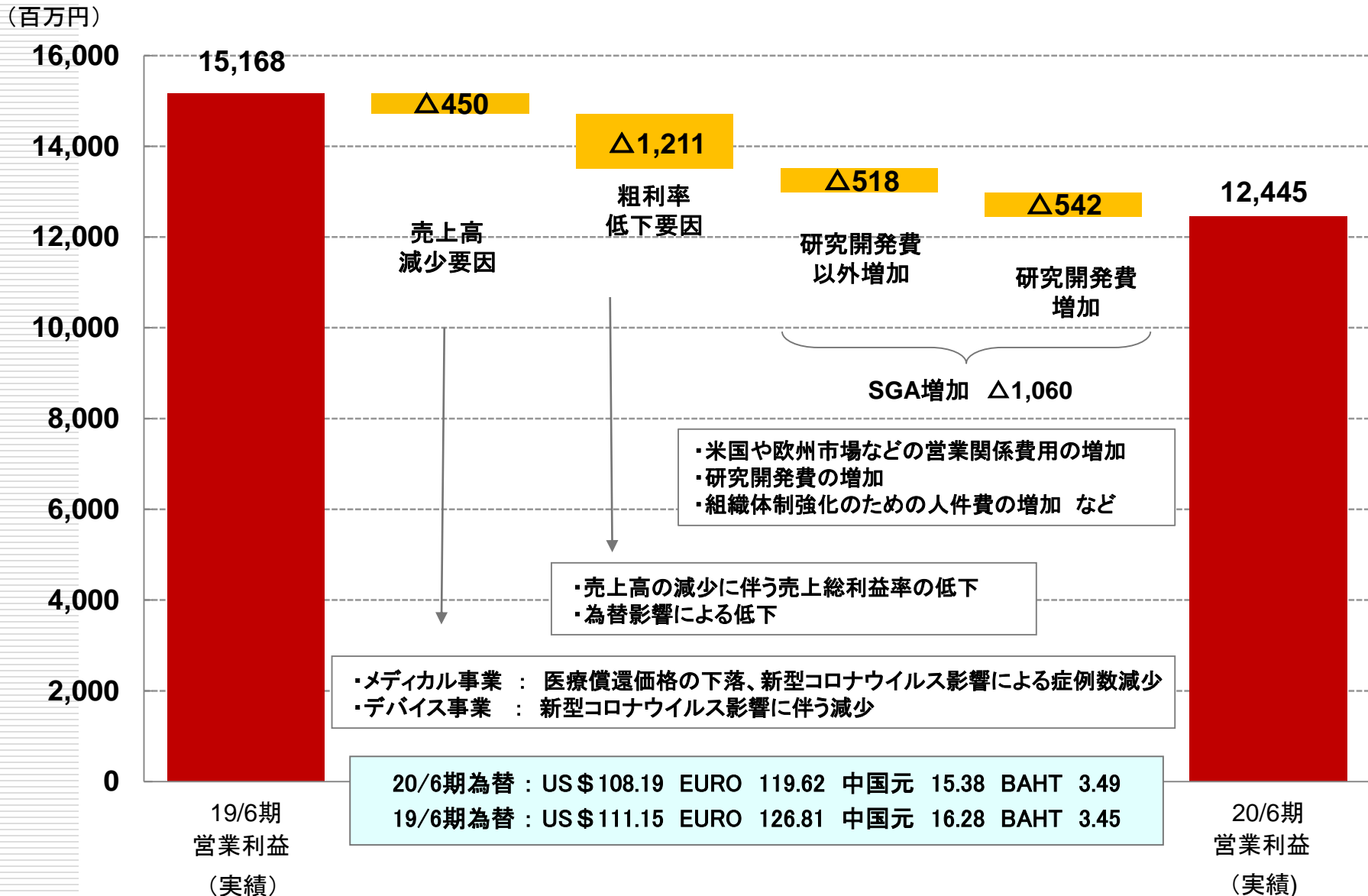


セグメント別の収益状況



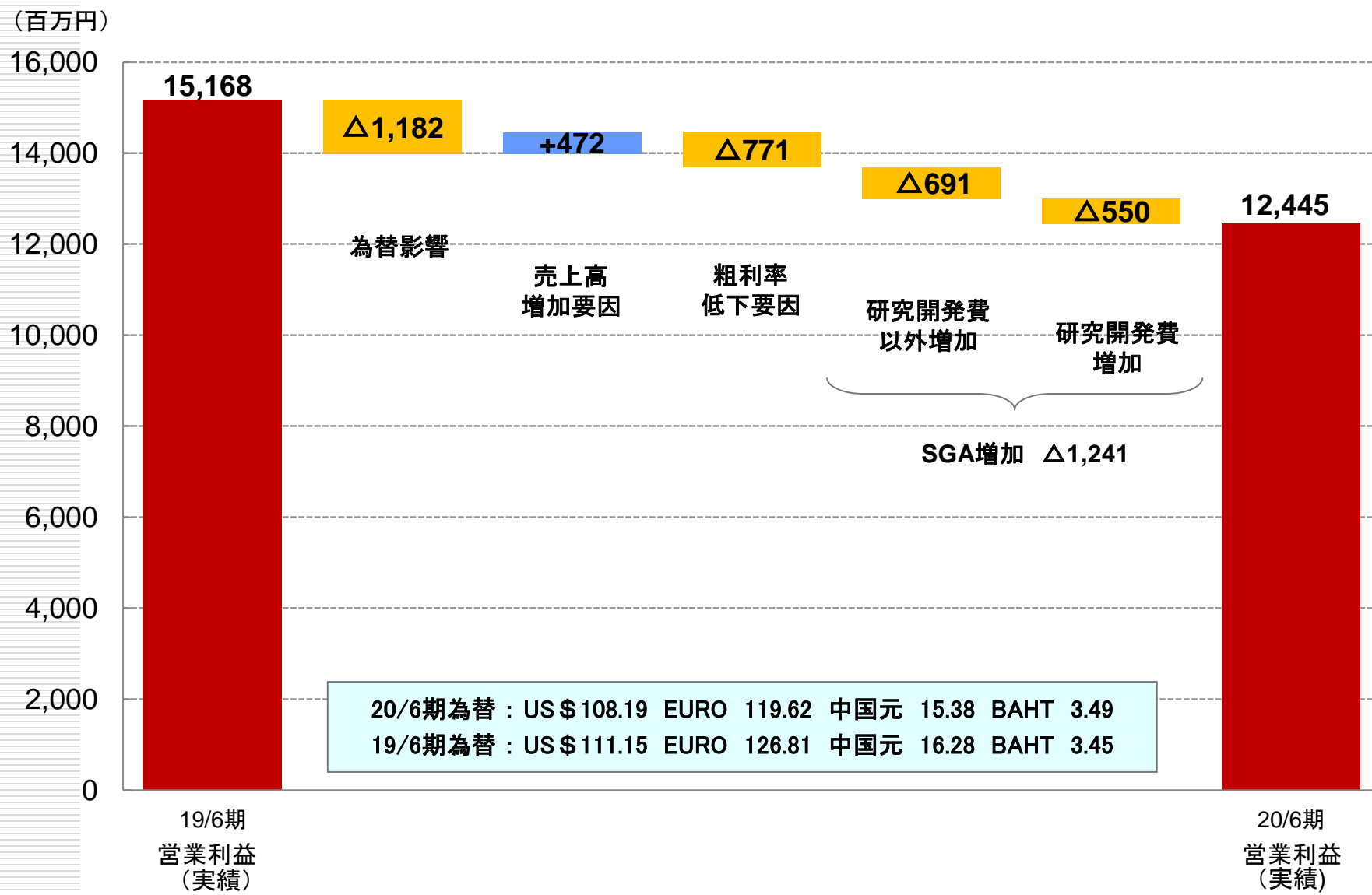


営業利益増減要因分析-1(為替の影響を含む)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

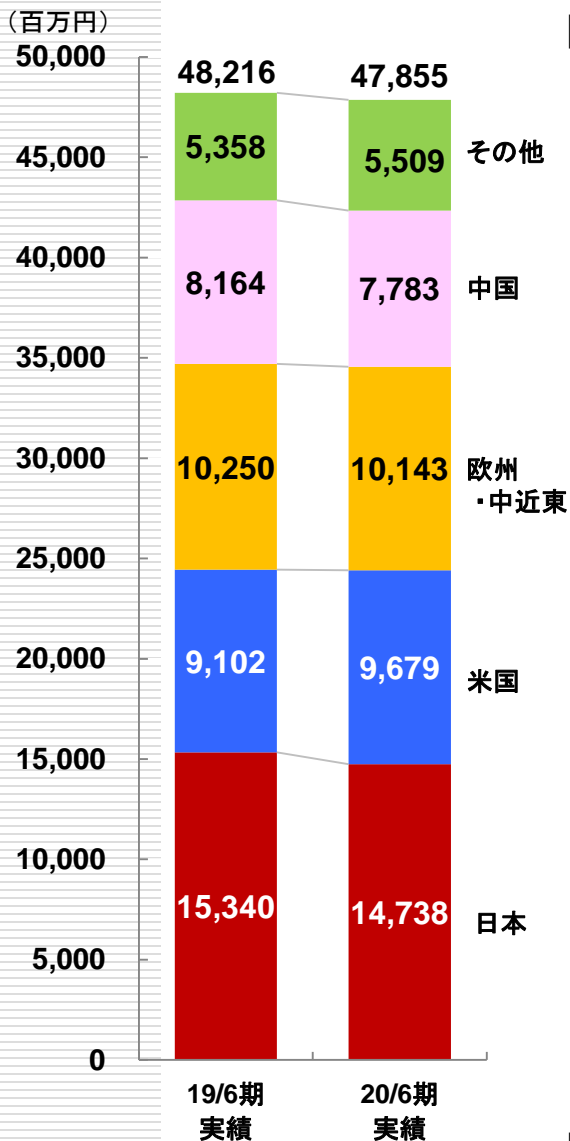




各事業の状況



メディカル事業の状況(地域別-1)



【売上高(前年同期比)】

■ 日本：医療償還価格下落の影響(△504百万円)に加え コロナ影響による症例数減少の影響を受け減収

- コロナ影響に伴い、4月以降症例数が減少
- PTCAガイドワイヤー：医療償還価格下落、コロナ影響により減少
- 脳血管系領域：バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor」の販売開始により増加

■ 海外：為替影響(△1,245百万円)やコロナ影響があるものの、 米国市場を中心とした数量の増加により微増

- 米国・・・PTCAガイドワイヤー：コロナ影響あるも、直接販売化推進に伴い増加(前期上半期は併売)
貫通カテーテル：コロナ影響あるも、直接販売強化による増加
脳血管系領域：メトロニック社在庫調整、症例数減少による減少
- 欧州・中近東・・・コロナ影響あるも、代理店販売のため影響緩和もあり、販売数量増加、為替影響に伴う減少
- 中国・・・PTCAガイドワイヤー：コロナ影響あるも、新規代理店への在庫補充や代理店販売に伴うコロナ影響緩和もあり、取引増加
貫通カテーテル：コロナ影響に加え、特需反動などにより減少
PTCAガイディングカテーテル「Hyperion」：代理店への在庫補充により増加
非循環器系分野：コロナ影響により、腹部領域が減少
- その他・・・コロナ影響あるも、代理店販売のため影響緩和もあり取引増加

【営業利益】 研究開発費及び営業関係費用の増加により減益



メディカル事業の状況(地域別-2)

(単位:百万円)

		2019年6月期 実績	2020年6月期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	111.15	108.19	△2.96	△2.7
	ユーロ	126.81	119.62	△7.19	△5.7
	中国元	16.28	15.38	△0.90	△5.5
売上高合計		48,216	47,855	△360	△0.7
日本		15,340	14,738	△601	△3.9
海外		32,875	33,116	+240	+0.7
米国		9,102	9,679	+577	+6.3
欧州・中近東		10,250	10,143	△106	△1.0
中国		8,164	7,783	△380	△4.7
その他		5,358	5,509	+151	+2.8
営業利益		15,748	12,608	△3,139	△19.9



メディカル事業の状況(患部領域別-1)

【売上高(前年同期比)】

循環器

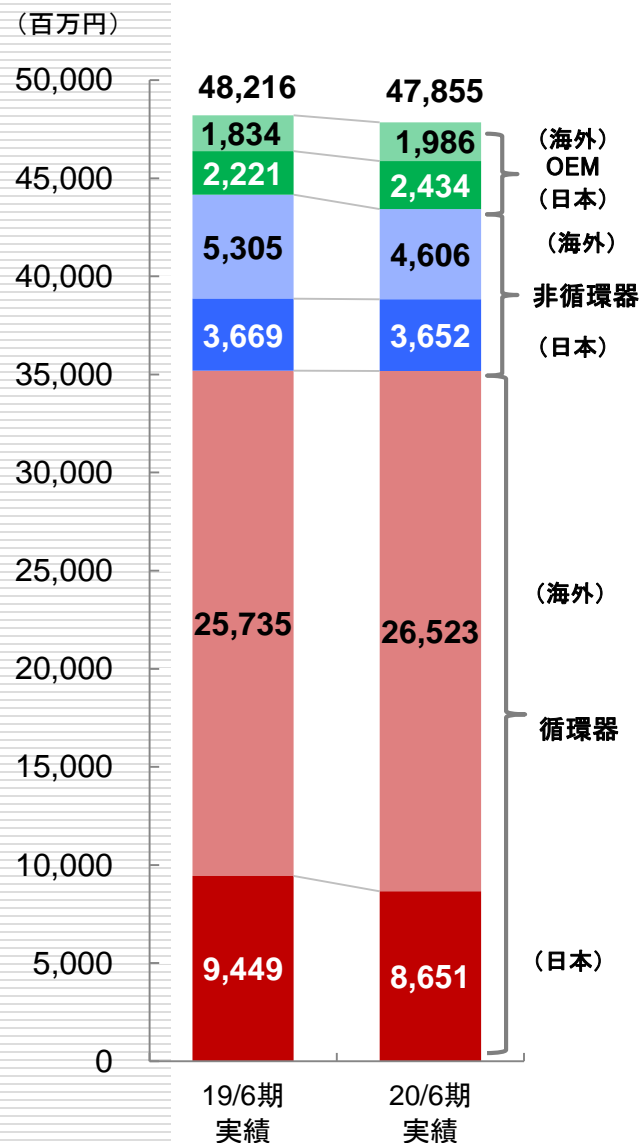
- 日本…医療償還価格下落の影響に加え
コロナ影響による症例数減少の影響を受け減収
 - 4月以降症例数が減少
 - PTCAガイドワイヤー：医療償還価格下落、コロナ影響により減少
- 海外…為替影響、コロナ影響があるものの米国市場の増加により微増
 - PTCAガイドワイヤー：コロナ影響あるものの、全地域において数量増加
米国市場：直接販売化推進に伴い増加
中国市場：コロナ影響あるも、新規代理店への在庫補充や代理店販売に伴うコロナ影響緩和もあり、取引増加
 - 貫通カテーテル：中国市場にて、コロナ影響に加えて特需反動により減少

非循環器

- 日本…脳血管系領域において、ガイドワイヤーの増加に加え、
バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor」の販売開始により好調に推移
- 海外…脳領域：米国にてメトロニック社の在庫調整、症例数減少による減少
腹部領域：中国にてコロナ影響により減少

OEM

- 日本…循環器検査用ワイヤー、消化器用ワイヤーなどの取引の増加
- 海外…ホストン・サイエンティフィック(米国)向けFFR部材の供給増加





メディカル事業の状況(患部領域別-2)

(単位:百万円)

		2019年6月期 実績	2020年6月期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	111.15	108.19	△2.96	△2.7
	ユーロ	126.81	119.62	△7.19	△5.7
	中国元	16.28	15.38	△0.90	△5.5
売上高合計		48,216	47,855	△360	△0.7
	日本	15,340	14,738	△601	△3.9
	海外	32,875	33,116	+240	+0.7
循環器		35,184	35,175	△9	△0.0
	日本	9,449	8,651	△797	△8.4
	海外	25,735	26,523	+788	+3.1
非循環器		8,974	8,259	△715	△8.0
	日本	3,669	3,652	△16	△0.4
	海外	5,305	4,606	△699	△13.2
OEM		4,056	4,420	+363	+9.0
	日本	2,221	2,434	+212	+9.6
	海外	1,834	1,986	+151	+8.2



デバイス事業の状況-1

(百万円)

10,000

9,000

8,000

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

9,000

2,612

1,052

3,010

2,324

19/6期
実績

8,690

2,915

1,160

2,375

2,239

20/6期
実績

(海外)

医療部材

(日本)

(海外)

産業部材

(日本)

【売上高（前年同期比）】

医療部材

- 日本：新規分野への試作取引の増加
- 海外：米国向けの循環器系検査用カテーテル部材及び腹部血管系カテーテル部材の増加

産業部材

- 日本：OA機器関連の取引が増加したものの家電関連、建築関連の取引が減少
- 海外：自動車関連、建築関連、レジャー関連の取引が減少

【営業利益】

- セグメント間取引の増加により増益



デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

		2019年6月期 実績	2020年6月期 実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート (円)	ドル	111.15	108.19	△2.96	△2.7
売上高合計		9,000	8,690	△309	△3.4
	日本	3,377	3,399	+22	+0.7
	海外	5,623	5,290	△332	△5.9
医療部材		3,665	4,075	+410	+11.2
	日本	1,052	1,160	+107	+10.2
	海外	2,612	2,915	+302	+11.6
産業部材		5,335	4,614	△720	△13.5
	日本	2,324	2,239	△84	△3.6
	海外	3,010	2,375	△635	△21.1
営業利益		2,885	3,278	+392	+13.6
(ご参考) セグメント間売上高		3,553	4,449	+896	+25.2



損益の状況

	2019年6月期 実績		2020年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	57,216	100.0	56,546	100.0	△670	・コロナ影響及び為替・償還価格影響により減少
売上原価	17,516	30.6	18,507	32.7	+991	
売上総利益	39,700	69.4	38,038	67.3	△1,662	・売上減・セブ工場稼働制限影響を受け減少
販管費	24,531	42.9	25,592	45.3	+1,060	・営業関係費用及び研究開発費の増加
営業利益	15,168	26.5	12,445	22.0	△2,722	
営業外収益	283	0.5	141	0.3	△141	
営業外費用	618	1.1	277	0.5	△341	・為替差損の減少
経常利益	14,833	25.9	12,310	21.8	△2,522	
特別利益	402	0.7	959	1.7	+557	・段階取得に係る差益の減少 ・新社屋補助金収入の計上
特別損失	278	0.5	612	1.1	+333	・投資有価証券評価損の計上 ・営業補償金の計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,237	19.6	9,178	16.2	△2,059	
包括利益	11,335	19.8	9,251	16.4	△2,084	・その他有価証券評価差額金 +668 ・為替換算調整勘定 △691

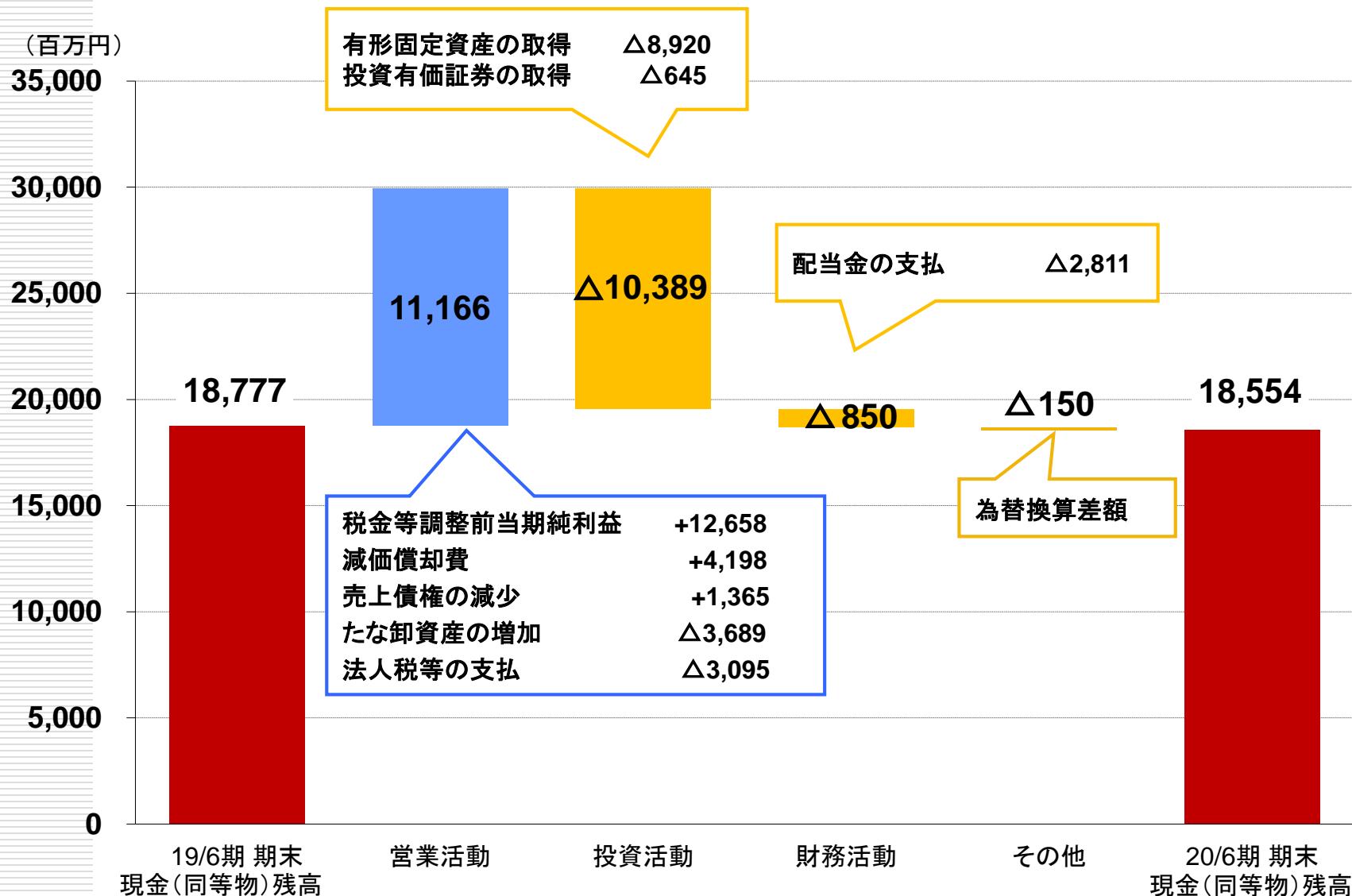


ご参考：財務の状況

		2019年6月期 実績		2020年6月期 実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	45,824	54.3	47,793	51.0	+1,969	仕掛品 +2,105 現金及び預金 △223
	固定資産	38,534	45.7	45,935	49.0	+7,401	有形固定資産 +5,940 無形固定資産 +729 投資有価証券 +783
資産合計		84,358	100.0	93,729	100.0	+9,370	
負債	流動負債	12,621	15.0	12,786	13.6	+164	
	固定負債	6,286	7.5	8,968	9.6	+2,681	長期借入金 +2,063 退職給付に係る負債 +296
負債合計		18,908	22.4	21,754	23.2	+2,845	
純資産合計		65,450	77.6	71,975	76.8	+6,524	利益剰余金 +6,331
負債・純資産合計		84,358	100.0	93,729	100.0	+9,370	



ご参考：キャッシュ・フローの状況





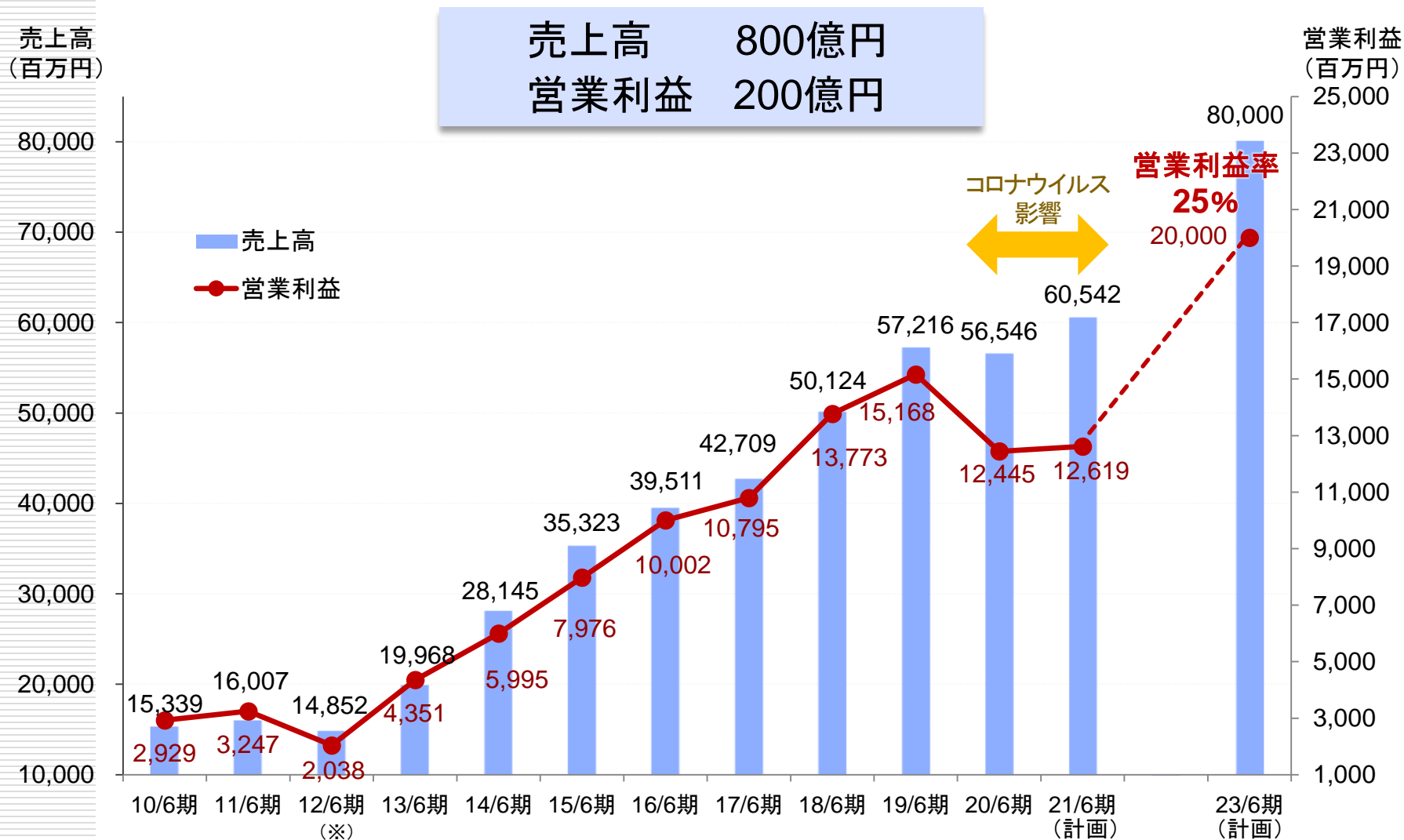
目次

1. 2020年6月期 連結決算の概要

2. 2021年6月期(通期) 連結業績見通し



中期経営計画：2023年6月期までの収益目標



(※)2012年6月期においては、タイ洪水の影響を受け、当社グループの主力工場である連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.が一時的に稼働を停止し、減産を余儀なくされたために、一時的な減収減益となっております。



2021年6月期 決算の見通しの考え方

新型コロナウイルスの影響によるPCI症例数の減少は、下半期には限定的になる想定 将来成長のための先行投資を継続的に実施

- 前期に引き続き新型コロナウイルス影響を受けることに加えて、為替動向、医療償還価格の下落などの厳しい外部要因があるものの、増収増益を予定
- PCI症例数の減少は、2020年6月期の後半より回復基調であり、2021年6月期においても、上半期を中心にコロナの影響が継続するものの、なだらかに回復に向かい、下半期への影響は限定的になることを想定
- 第二波による症例数の減少や、待機症例の治療によって、通常時100%を超えるような一時的な増加などは、定量化が困難であるため、折り込んでおりません
- 新型コロナウイルスの影響が収まれば、延期された待機症例の大半が治療されることが予想されるため、中長期的な成長性に影響は無いものと判断し、現在の中長期計画の基本方針・戦略に則り、先行投資などを継続的に実施



2021年6月期決算の見通し

新型コロナウイルス影響、為替動向、医療償還価格の下落などの外部要因による減収要因があるものの、メディカル事業の海外売上高拡大に伴い増収
研究開発費や海外営業強化に伴うコスト増加により営業利益は微増

■ 海外を中心とした需要増に伴い売上高は60,542百万円(前年同期比+7.1%)を見込む

- 増収要因
- 米国市場について、PTCAガイドワイヤーの市場シェアアップに伴い売上高増加
 - 中国市場について、新型コロナウイルス影響の回復により、売上高増加
- 減収要因
- 新型コロナウイルス影響に起因した売上高の低下
 - 医療償還価格の下落(4月改定予定・影響金額 △458百万円)
 - 為替動向の影響(△520百万円)

■ 売上総利益率の低下や、研究開発などのSGAの増加により、営業利益は微増

- 売上総利益率は、固定費(減価償却費)の増加などに伴い低下
- 営業利益は12,619百万円(同+1.4%)
 - 研究開発費用の増加(7,388百万円、売上高比率 12.2%)
 - 欧州・アジアなどを中心とした海外営業強化に伴う費用増加
 - 情報システム関係費用の増加
- 経常利益は12,496百万円(同+1.5%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益は9,193百万円(同+0.2%)

為替の前提	(単位:円)			
2021年6月期 (計画)	US \$	106.00	EURO	123.00
	中国元	15.00	BAHT	3.45
2020年6月期	US \$	108.19	EURO	119.62
	中国元	15.38	BAHT	3.49

為替変動による営業利益の影響・概算(主な通貨)

- US \$ (+1 円の影響) : 約 171百万円 増加
- EURO (+1 円の影響) : 約 61百万円 増加
- 中国元 (+1 円の影響) : 約 265百万円 増加
- BAHT (+0.1 円の影響) : 約 314百万円 減少

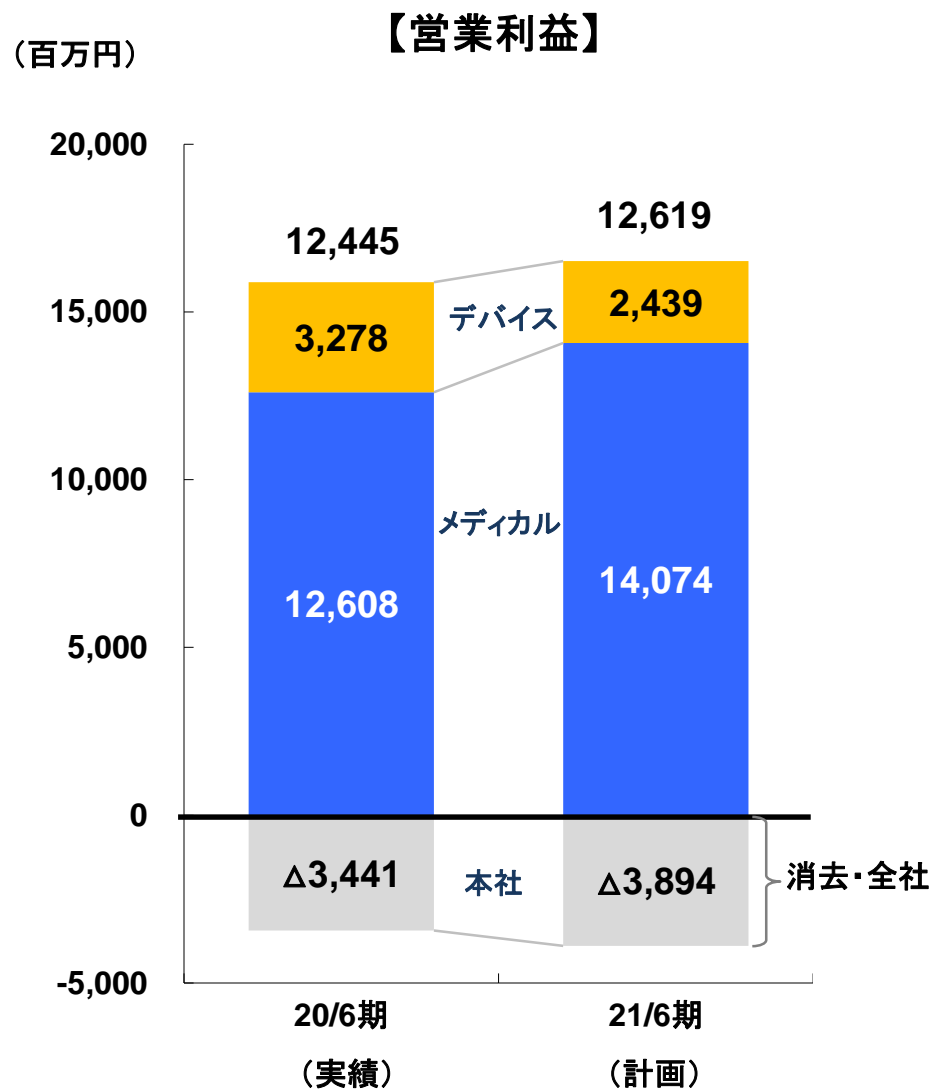
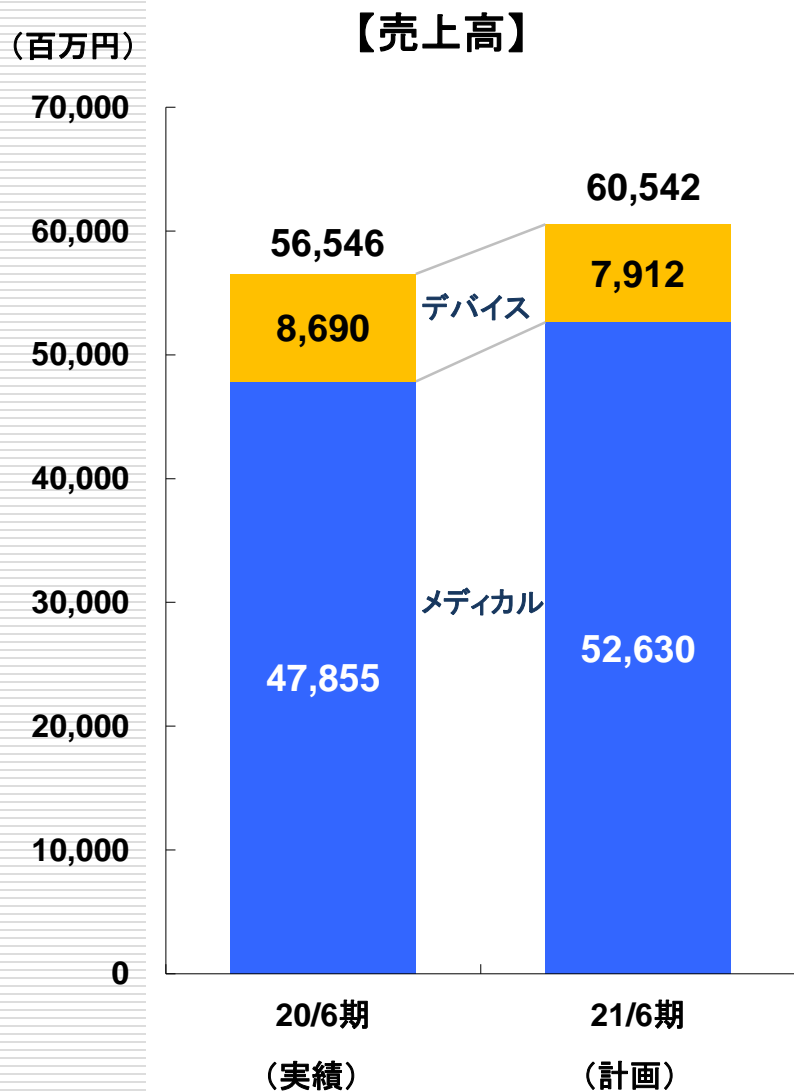


2021年6月期業績見通し

	2020年6月期 (実績)		2021年6月期 (計画)				(ご参考) 2021年6月期 実績と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	56,546	100.0	60,542	100.0	+3,996	+7.1	61,062	100.0	+4,516	+8.0
売上総利益	38,038	67.3	40,670	67.2	+2,632	+6.9	40,986	67.1	+2,947	+7.7
営業利益	12,445	22.0	12,619	20.8	+173	+1.4	12,795	21.0	+350	+2.8
経常利益	12,310	21.8	12,496	20.6	+185	+1.5	12,672	20.8	+362	+2.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,178	16.2	9,193	15.2	+14	+0.2	9,369	15.3	+191	+2.1
EPS(円)	35.25円	—	35.28円	—	+0.03円	+0.1	35.96円	—	0.71円	+2.0



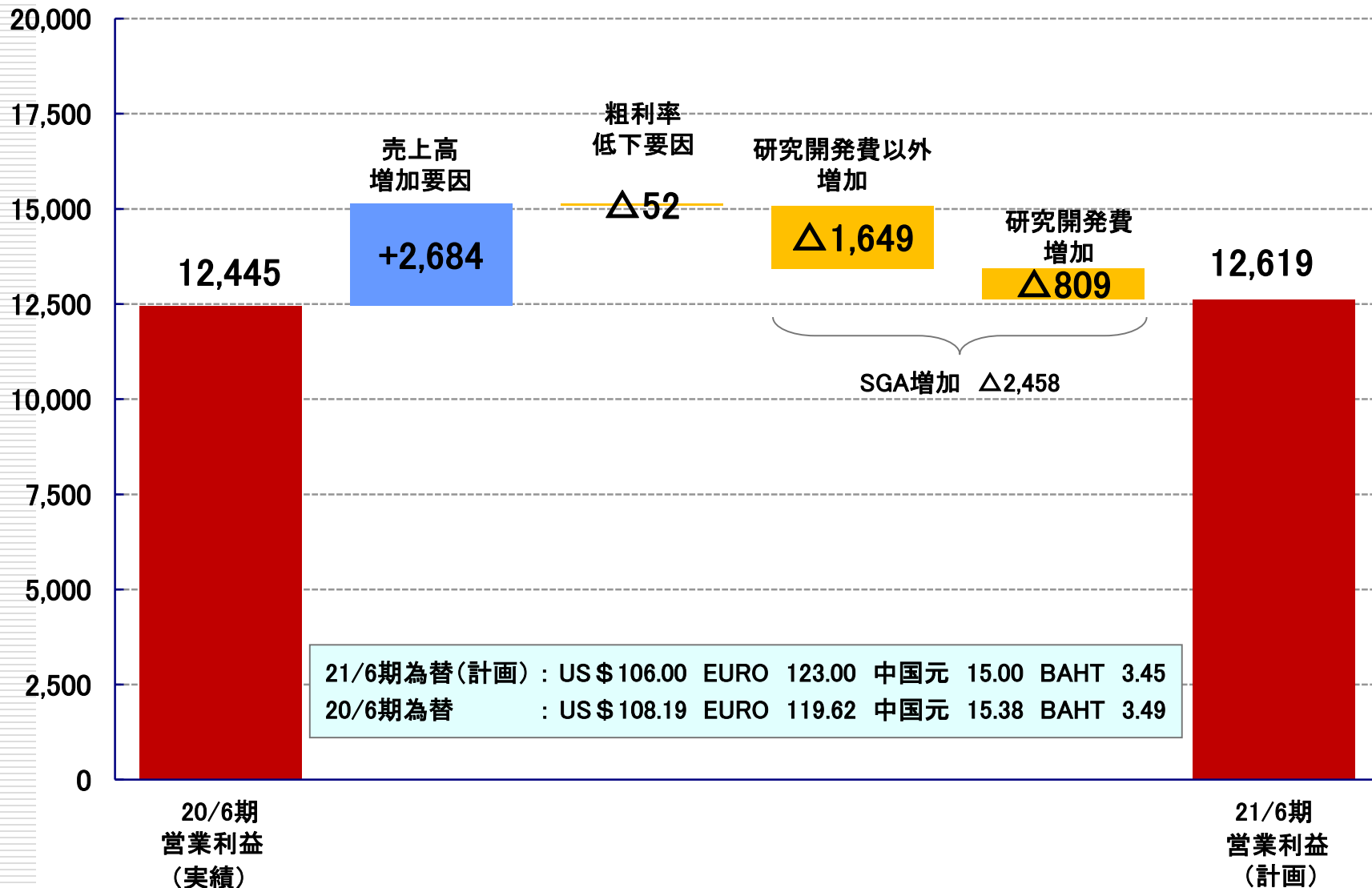
セグメント別の収益見通し





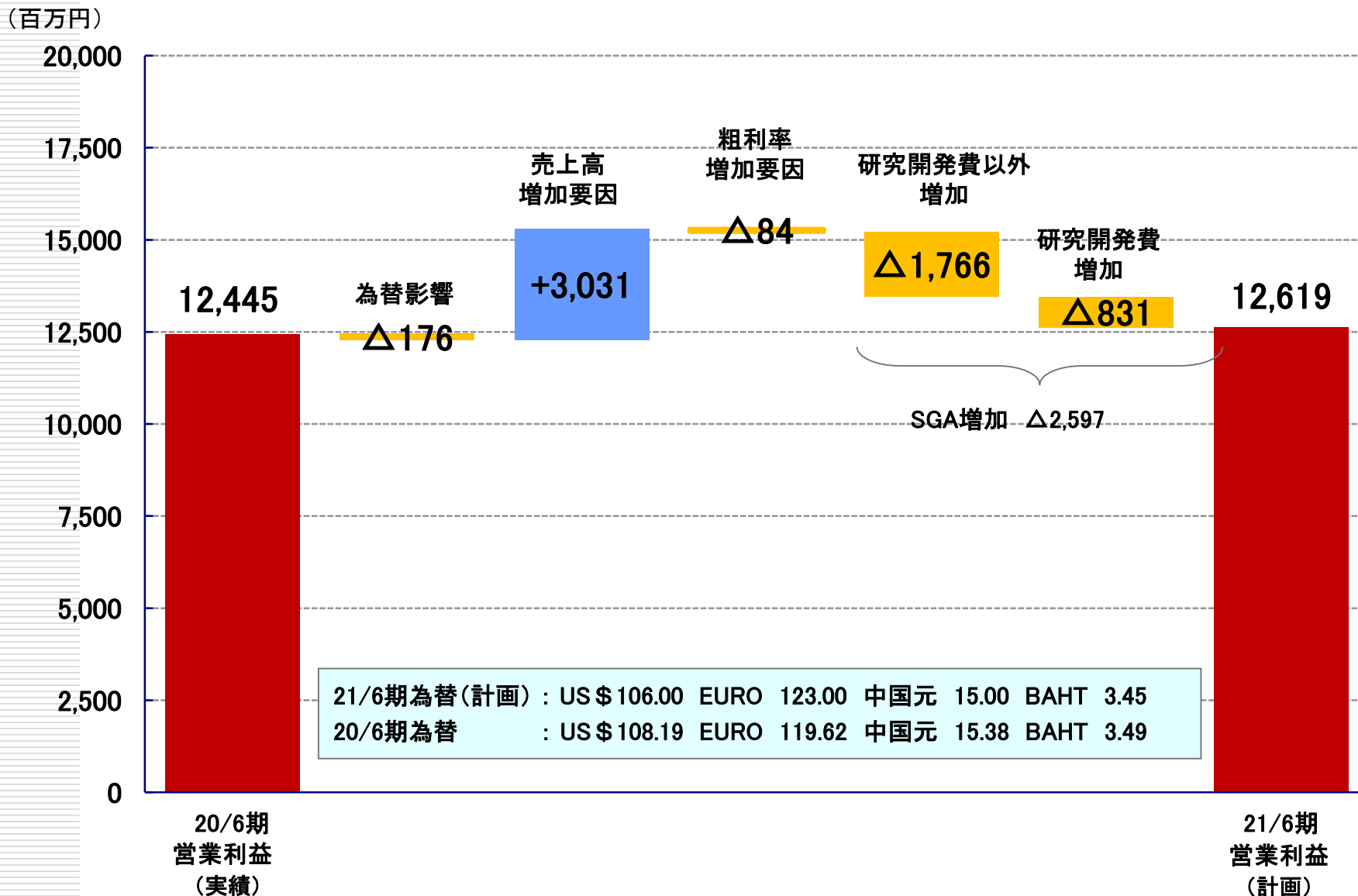
営業利益増減要因分析(為替の影響を含む)

(百万円)





営業利益増減要因分析(為替の影響を除く)

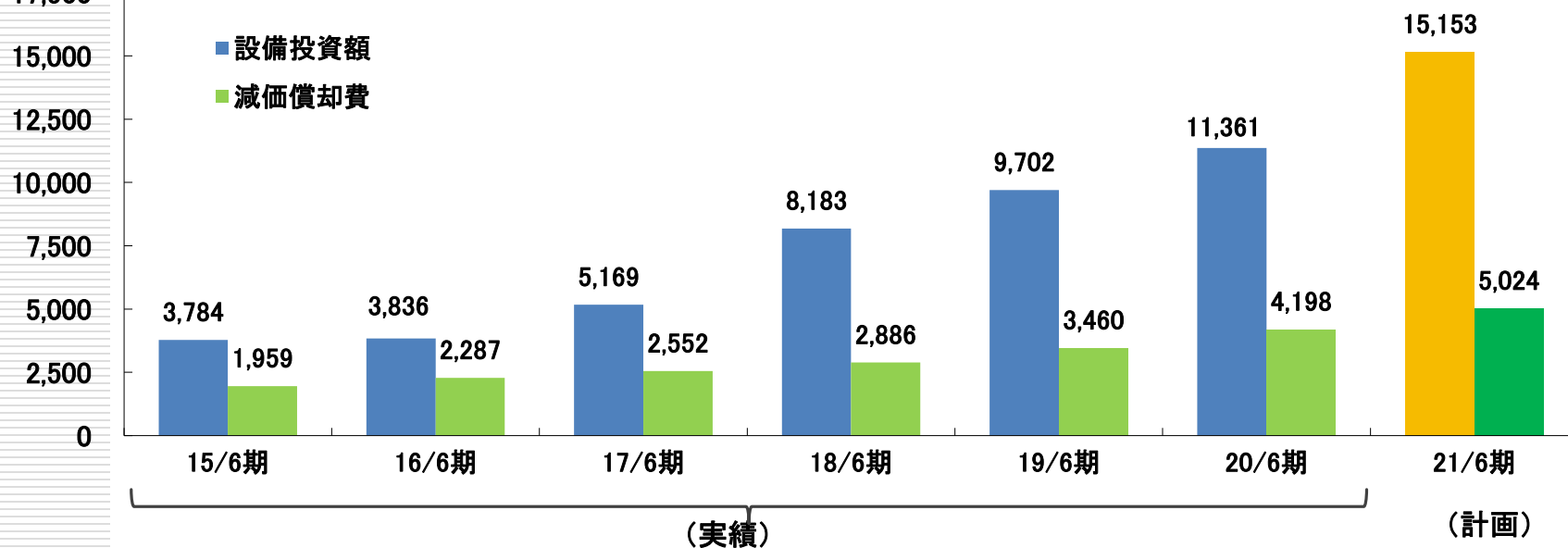




設備投資の実績及び計画

基盤技術研究の拡充を目的とした開発拠点の拡充
将来の増産に向けた海外工場拠点の拡充などを予定

(百万円)	主な投資案件	18/6期(実績)	19/6期(実績)	20/6期(実績)	21/6期(計画)
	瀬戸 新社屋の建設	2,705	2,154		
30,000	東北R&Dセンターの設立・拡張	683	294		394
27,500	大阪R&Dセンターの拡張				2,330
25,000	タイ メディカル新工場土地・建物			1,574	226
22,500	タイ メディカル工場拡張	1,159	1,478	267	309
20,000	セブ メディカル第1工場の立上	436	302		
17,500	セブ メディカル第2工場の立上		478	961	1,509
	セブ デバイス新工場土地・建物			881	195
	基幹系システム(SAP)の導入(稼動開始時期は遅延)	143	507	954	1,183





研究開発費の推移

研究開発費
(百万円)

新規案件対応のための開発費用の増加

売上高研究開発費比率





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
朝日インテック株式会社 経営戦略室
TEL 0561-56-1851 (Direct)
URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>